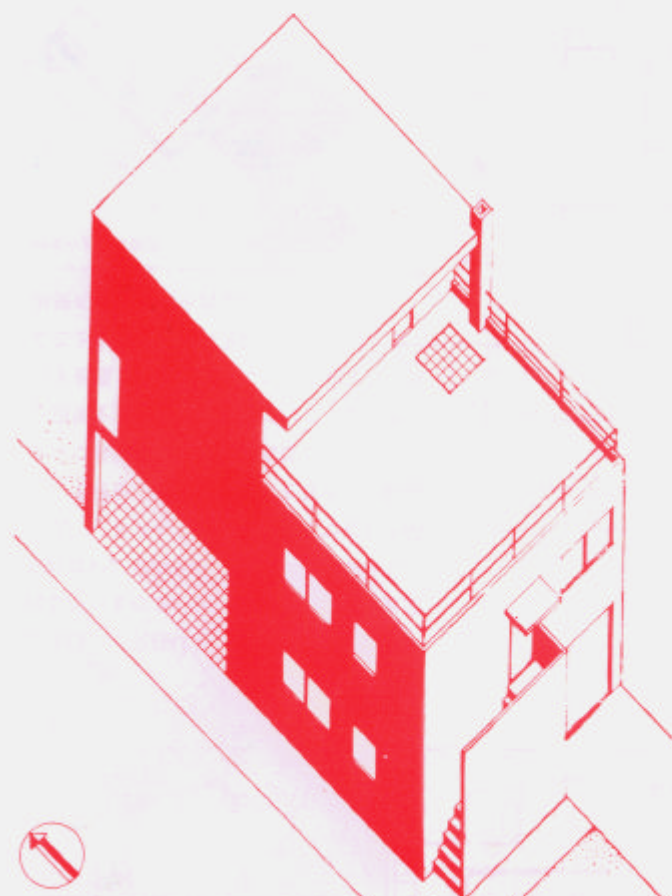



STUDIO, ECHELLE 2^{CM} PM. PARIS JUIN '29, L'ARCH.

①

DE STIJLより



②



③



④

ドゥースブルフ (オランダ)

(Doesburg 1883—1931)

ユトレヒト生れ。アウトラととも
2次元的な面を建築に有機的に結び
付けようと、1916年スフィンクス・
グループを設立。1年後、絵画の革
新および諸芸術の結合を目指して、
デ・スティールの運動をおこし、同名
の機関誌を刊行し、スポークスマン
としてそのイデオロギーを系統立て
る手助けをした。要素主義に基づき
絵画や建築計画を発表し、また、ワ
イマルに赴きバウハウスに大きな
影響を与えた。1923年建築展をG.
リートフェルト、C.v. エーステン
と開く。26年、P.モンドリアンの新
造形主義と別れて新要素主義を発
表。絵画、小説、詩、演劇、音楽な
ど多彩な活動をした。建築作品とし
てはムードンのスタジオ住宅(1930
—31)があるのみである。